

【放デイ】保護者等向け	事業所名	多機能型事業所あおぞら(放デイ)			
	アンケート実施期間	令和 1年 11月 1日から	令和 1年 11月 22日まで		
	配布数	20/ 28枚(回収率 71%)			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
例	0	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか				
環境・体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	1	0	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	14	5	0	・新しい職員がたくさん入ったので(どちらともいえない)
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	18	2	0	
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	18	0	0	
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	17	2	0	・利用し始めたばかりなので(どちらともいえない)
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10	7	1	・利用し始めたばかりなので(どちらともいえない) ・障害のない子との交流(が少ない)
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	2	1	
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	2	0	
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	3	0	
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	16	4	0	
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	2	0	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	1	0	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	4	0	
	14	個人情報に十分注意しているか	10	8	2	・他児のプリントが入っていた。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	5	2	・利用日数が少ない為、答えにくい、分からない。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	4	0	・利用日数が少ない為、答えにくい、分からない。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	17	3	0	・活動によって(楽しみにしたりしなかったりしている) ・家→学校→放デイと気持ちの切り替えが難しいが、あおぞらに着くと楽しみにしている。
	18	事業所の支援に満足しているか	20	0	0	

【放デイ】事業者向け	事業所名	多機能型事業所あおぞら(放デイ)		
	アンケート実施期間	令和 1年 11月 1日から	令和 1年 11月 22日まで	
	配布数	6/ 6枚(回収率 100%)		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
例	0	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか				
環境・体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	0	
	2	職員の配置数は適切であるか	2	3	0	・他事業所への応援等で不足していることもある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	2	0	・スロープ等を設置し、段差は少なくなっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	1	0	・翌日の話し合いや、振り返りの際に、不明だった点の共有はできている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	2	0	・イベントごとに独自のアンケート調査を実施して、次に繋げるよう努めている。 ・会議で調査結果を吟味し、検討する機会をつくりたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	1	3	・公開していることを知らない職員がいるため、周知を徹底する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	2	・スーパーバイザー等にきてもらい、様々なことを指導及び助言をしていただいている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	・月に1度程度の研修や、外部講師による実践研修を受けている。
適切な支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1	0	・会議で共有する機会を設けたり、定期的に保護者との面談を行ったりしている。 ・支援内容や保護者のニーズを踏まえうえて、職員同士が意見を出し合って作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1	0	・アセスメントツールの見直しを検討する予定である。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1	0	・会議等で意見を出し合う機会を設けている。 ・企画した内容に対して改善点がないか等の相談するよう努めている。 ・各プログラムを分担して行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	1	0	・年間計画・月間予定を立てる際、様々な活動プログラムを組み入れるようにしている。 ・取り組めたことと取り組めなかったことを確認し、一人ひとりにあったプログラムを見つけるように努めている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	1	1	・長期休暇に入る前に短い間隔で会議を設けて、各プログラムの共有をしている。 ・平日と休日のサービス提供時間が異なるため、様々な課題を取り入れていきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	2	0	・個別活動と集団活動のプログラムを組み合わせで計画している。 ・モニタリング会議等で「個別」「集団」の観点を含めて、個々に議論できるようにしたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	・時刻を決めて取り組んでいるが、時間が短く限られたことしか言えないことがある。 ・当日の活動内容や前日の出来事等を共有している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	2	0	・記録を記入する際に反省点等を話し合うように努めている。 ・翌日に行っているが、もう少し気軽に意見を出し合える雰囲気をつくりたい。 ・退勤時刻の違いがあり、送迎がある日には共有できていない。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	・実施記録の様式を変更し、具体的な目標について記入しやすくした。 ・実施記録を毎日記入し、特に気になった事は共有している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	1	0	・6ヶ月に1回必ずモニタリング会議を行い、議論している。 ・個別支援計画の把握が徹底されていない為、周知・把握を徹底して支援に繋げていく。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	2	1	2	・ガイドラインを読めていない職員がいるため、周知を徹底する。	

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	4	1	0	・管理者もしくは児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	1	0	・下校時刻のわかる書類の提供を求めたり、保護者や学校からの連絡をお願いしたりしている。下校時刻の変更を含む。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	4	1	・現状、医療的ケアの必要な子どもの利用がない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	2	1	・契約したら、前籍もしくは利用中の事業所から、個別支援計画等の情報提供を受けている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	3	1	・現状、学校を卒業した子どもはいない。 ・今年度、卒業を迎えるため、支援計画等の情報提供を予定している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	0	・スーパーバイザーによる助言をいただいたり、事例検討を含む実践研修を開催してもらっている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	2	0	・年3~4回、同法人内の施設等(保育所・学童保育所)の子どもや保護者が参加できるイベントを行っている。 ・今後、他の機会にも障害のない子どもとの交流できる機会を検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	2	2	・協議会主催の職員向け研修に参加している。 ・協議会のことが分からない職員がいるため、周知していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1	0	・お迎え時に子どもの状況を伝え合うようにしている。 ・個々の発達の状況や課題についても、日頃から伝え合えるよう努めていきたい。
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	4	1	・茶話会で意見交換を行っている。 ・研修等で、職員の知識・スキルの向上を図りたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	1	・契約時に詳細に行っている。 ・保護者からの質問には、その都度答えている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	2	1	・面談やお迎えの際、相談に応じている。 ・進路等についての相談を受け、職員間で共有している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	0	2	・年2回の茶話会と年2~3回の保護者参加型のイベントを開催している。 ・把握していない職員にも現状を共有する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1	0	・契約時に、苦情への対応の体制をお伝えしている。 ・苦情相談があった場合、上司に相談し対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	・月1回、お便りを配付している。 ・今後、HPやFBでの発信も予定している。
	35	個人情報に十分注意しているか	4	1	0	・書庫の鍵の管理は徹底している。 ・個人情報の記載された書類は、シュレッダーで破棄している。 ・インターネット上のセキュリティを強化していく。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	1	0	・活動記録や月間予定表、お便り等で事前に活動内容を周知している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	2	・法人内のイベントに地域の方がみえることがある。
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	0	4	1	・マニュアルの周知を徹底して必要がある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	・月1回、避難訓練を行うよう年間計画を立てている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	2	0	・研修を通じて虐待防止の対応を愛する機会を設けていきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	2	1	・契約時に詳細を伝え、同意書にサインいただくようにしている。 ・職員間での情報共有を徹底していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	3	0	・指示書ではないが、保護者との話し合いを基に対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1	3	1	・ヒヤリハット事例を共有はしているが、書面として作成できていない。 ・今後、適宜書類に記入するよう努めていく。